

指定病院等における不在者投票事務必携

令和 6 年 2 月

北上市選挙管理委員会

目 次

I はじめに

1 不在者投票制度について.....	1
2 特に留意いただきたいこと.....	1

II 事務手続きについて

1 どのような者が不在者投票をすることができるか.....	2
2 不在者投票のできる期間及び時間.....	2
3 不在者投票管理者となる者.....	2
(1) 指定病院等に入院又は入所中の選挙人自らが投票用紙等の 交付を請求した場合.....	2
(2) 指定病院等に入院又は入所中の選挙人の依頼を受けて 指定病院等の長が投票用紙等の交付を請求した場合.....	3
(3) 指定病院等の長が候補者となった場合又は外国人の場合.....	3
(4) 指定病院等の長が候補者となった場合等の不在者投票管理者.....	3
4 不在者投票管理者の主な仕事.....	3
5 投票記載場所の設備.....	3
6 投票用紙等の請求の方法.....	4
(1) 投票用紙等の請求.....	4
(2) 請求にはどのような文書が必要か.....	4
(3) 点字で投票しようとする場合.....	4
7 投票用紙等の交付.....	4
8 投票用紙等の受領.....	5
9 不在者投票の方法.....	5
(1) 不在者投票をさせる前にしなければならないこと.....	5
(2) 投票するときの手続は.....	6
10 立会人の立会い.....	7
11 外部立会人の活用.....	8
12 不在者投票の送致等.....	8
13 不在者投票事務処理簿.....	8
14 経費の精算.....	9
 選挙期間中の問合せ先.....	 9

(注) 法：公職選挙法 令：公職選挙法施行令

I はじめに

1 不在者投票制度について

選挙の期日（投票日当日）に、一定の事由に該当することが見込まれる選挙人や身体的に重度の障害があるため投票所に行くことができない選挙人が投票日の前でも例外として投票できる制度が「不在者投票」ですが、不正の混入を避け、選挙の公正を確保するため詳細な手続きが法令等で規定されておりますので、不在者投票管理者にあつては、的確な事務処理により公正な管理執行にあたられるようお願いいたします。

特に、岩手県選挙管理委員会の指定する病院、老人ホーム、身体障害者更生援護施設及び保護施設（以下「指定病院等」という。）の長の皆様には、本来の職務のほか不在者投票管理者としての仕事をしていただくこととなりますが、選挙の重要性を十分認識いただき、御協力くださるようお願いいたします。

2 特に留意いただきたいこと

- (1) 投票日前に選挙人に投票させる例外的な制度であるため、特にその取り扱いは厳格にし、前もって全体の事務処理について計画を立て、円滑にかつ適正に事務処理ができるよう準備をしてください。
- (2) 間違いがないように、選挙管理委員会と十分に打合せをしてください。
- (3) 勘や過去の経験に頼ることなく、常に、法規、実例及び判例等に根拠をおいて的確に処理をしてください。疑わしい点については、担当者の考えだけで処理せず、選挙管理委員会に問い合わせたうえで処理してください。
- (4) 投票事務は、確実さと迅速さが要求されますので、緊急な事務処理を必要とする場合の対策を選挙管理委員会と打合せをしておき、また、緊急連絡のための電話番号等を前もって確認しておいてください。
- (5) 投票にあたっては、投票の秘密を厳格に保持するとともに選挙人が自由な意思で投票できるよう配慮願います。
- (6) 投票にあたっては、立会人が最低一人立ち会わなければなりませんが、立会人には「投票立会人」の腕章を付けさせるか、立会人の机の上に表示させるなどして、立会人であることが誰から見ても明らかになるようにしてください。
- (7) 不在者投票管理者、立会人及び代理投票の補助者については、それぞれ一般の投票と同様に、職権乱用による選挙の自由妨害罪、投票の秘密侵害罪、投票干渉罪、立会人の義務を怠る罪等が適用されます（法255）ので、これらの罰則に触れることのないよう十分に注意願います。
- (8) 不在者投票管理者は、不在者投票に関し、その者の業務上の地位を利用して選挙運動をすることができません。（法135②）

「不在者投票に関し、その者の業務上の地位を利用して」とは、「不在者投票管理者が日常の職務上有する影響力を利用して」という意味であり、例えば「不在者投票の管理者である病院長が、不在者投票の対象となる入院患者に対して、診察上の影響力を利用して選挙運動をすること。」は同条に抵触しますので、注意してください。

以上のような事項を留意のうえ、不在者投票の違法な管理執行によって選挙が無効となることがないようにお願いします。

Ⅱ 事務手続きについて

1 どのような者が不在者投票をすることができるか

指定病院等において投票できる者は、次のとおりです。

- (1) 疾病、負傷、妊娠、老衰、身体の障害又は産じょくにあるため、歩行が困難と見込まれる者で、指定病院等に入院中又は入所中の選挙人（法49①）
- (2) 選挙人の属する投票区外にある指定病院等に入院又は入所中の選挙人（法49①）

2 不在者投票のできる期間及び時間

選挙の告示の翌日から選挙の期日（投票日当日）の前日までの毎日午前8時30分から午後5時までです。（法270、令58①、令56②）

今回の北上市議会議員選挙では、3月18日（月）から3月23日（土）までです。

ちなみにその期間内で不在者投票をする期日を定めることは差し支えありませんが、その定めた日以外の日に投票したい旨の申出があった場合でも、これを拒否することはできません。

3 不在者投票管理者となる者

当該選挙の選挙権の有無にかかわらず、次の者が不在者投票管理者となります。

- (1) 指定病院等に入院又は入所中の選挙人自らが投票用紙等の交付を請求した場合（令50①）

・ その指定病院等の長（令55②）

・ 投票用紙等の交付を受けた選挙人が現に所在し又は居住する地の選挙管理委員会の委員長（北上市選挙管理委員会）（令55①）

＊これは稀なケースです（例 名簿登録市町村外の病院に入院している選挙人が、投票日当日は手術後により歩行困難が予想されることから、選挙人自らが投票用紙等を申請し、その病院の属する市町村の不在者投票をする場合等）

- (2) 指定病院等に入院又は入所中の選挙人の依頼を受けて指定病院等の長が投票用紙等の交付を請求した場合（令50④）

・ その指定病院等の長（令55④Ⅱ）

- (3) 指定病院等の長が候補者となった場合又は外国人の場合
不在者投票管理者となることができません。（令55⑧）

- (4) 指定病院等の長が候補者となった場合等の不在者投票管理者

指定病院等の長が（3）に該当するときや指定病院等の長に事故あり、若しくは欠けた場合は、病院にあつては、その長の職務を代理すべき医師又は歯科医師が、病院を除く施設あつては、その施設の長の職務を代理すべき者が不在者投票の管理者となります。（令55⑨）

病院の事務長などは、不在者投票管理者となることができませんので注意をしてください。

4 不在者投票管理者の主な仕事

不在者投票管理者の職務は、不在者投票に関する手続きのすべてについて最終的な決定をすることであり、不在者投票事務に従事する者を指揮監督し、不在者投票事務全般を管理執行することです。担任する事務の主なものは、次のとおりです。

- (1) 選挙人に代わって投票用紙及び不在者投票用封筒の交付を請求すること。（令50④）
- (2) 交付を受けた投票用紙及び不在者投票用封筒を選挙人に渡すこと。（令53④）
- (3) 投票用紙、不在者投票用封筒及び不在者投票証明書を点検すること。（令58①、②）
- (4) 選挙権を有する者を立会人として選び、不在者投票に立ち会わせること。（令58③、56③）
- (5) 不在者投票記載場所の設備をすること。（令58④、32）
- (6) 代理投票の申請を受け、その許否を決定すること。（令58④、56④⑤）
- (7) 投票の終わった不在者投票を送致すること。（令60①Ⅰ）

5 投票記載場所の設備

- (1) 不在者投票管理者は、投票記載場所について、他人が選挙人の記載を見ることができないように投票の秘密を保持し、また、投票用紙の交換やその他の不正が行われることを防止するために、相当の設備をしなければなりません。（令58④、32）
- (2) 投票記載場所に候補者の氏名等を記載したポスター等が掲示してあるときは、撤去しておかなければなりません。（法143①Ⅴ、145①）
- (3) 投票記載場所及びその周辺に候補者の氏名等の掲示をすることはできません。

(令125の4)

6 投票用紙等の請求の方法

投票用紙等を請求する方法は、入院中又は入所中の選挙人からの依頼によって指定病院等の長又はその代理人が代わって請求するのが一般的ですが、選挙人自らが請求することもできます。入院患者又は入所者の投票用紙等の請求の依頼については、本人の意思を十分に確認したうえで行ってください。

(1) 投票用紙等の請求

選挙人として登録されていることが必要となりますが、名簿登録地（当該選挙では北上市）の選挙管理委員会委員長に対して選挙期日（投票日）の前日までに請求することになります。この場合、選挙期日の告示前においても請求することができます。（令50①④）

請求することができる時間は、原則として午前8時30分から午後8時までの間となります。（法270の2、令142の2①I）

なお、請求は直接又は郵便等によることとなっています。

(2) 請求にはどのような文書が必要か

ア 指定病院等の長又はその代理人が選挙人に代わって請求する場合（令50④）

「投票用紙等請求書（様式1）」

*選挙人に代わって請求する場合の「入院患者又は入所者の依頼」は口頭でも差し支えないものの、訴訟等の際に不在者投票が有効に行われたかどうかを立証するための重要な資料となるので、「投票用紙及び不在者投票用封筒請求依頼書（様式2）」のような依頼書を提出させるのが望ましいです。

イ 選挙人自ら請求する場合（令50①）

「請求書兼宣誓書（様式3）」不在者投票事由に該当すると見込まれる旨を申し立て、かつ、その申請のすべてが真正であることを誓う旨の宣誓書を提出しなければなりません。（令52）その際は、指定病院等の施設内で投票しようする旨を併せて申し立てることが必要です。

(3) 点字で投票しようとする場合

選挙人が点字によって投票しようとする場合に、指定病院等の長が選挙人に代わって請求するときは、投票用紙等請求書（様式1）の備考欄にその旨を記載してください。（令50③、④）

7 投票用紙等の交付

選挙管理委員会は、前記6による投票用紙等の請求を受けた場合は、選挙期日の告示日の翌日（郵便をもって発送するときは、公示又は告示の日以前において市町村の選挙管理委員会の定める日）以後に、投票用紙及び不在者投票用封筒を交付す

ることになりますが、指定病院等の長又はその代理人が選挙人の依頼により請求したときはその指定病院等の長又はその代理人に交付します。また、選挙人自らが請求したときには、当該選挙人に対して交付し、又は郵便等をもって送付します。(令53①)

8 投票用紙等の受領

選挙人の依頼によって投票用紙等を請求した指定病院等の長は、請求先の選挙管理委員会から「投票用紙及び投票用封筒（様式4）」を交付させた場合には、次のように取り扱いしてください。

- (1) 不在者投票用封筒の表面に選挙の種類が記載されているか、選挙管理委員会の印が表示されているかを確認してください。
- (2) 点字投票による旨の請求をした場合に、交付された投票用紙に点字投票である旨が表示されているかを確認してください。
- (3) 上記(1)、(2)を確認後、直ちに投票用紙及び不在者投票用封筒を依頼した選挙人に渡してください。(令53④)

＊事前に投票する日時を決定し、選挙管理委員会からの投票用紙等交付日時を打ち合わせておいてください。

9 不在者投票の方法

- (1) 不在者投票をさせる前にしなければならないこと

ア 投票用紙の点検（令58①）

不在者投票管理者は、選挙人にその投票用紙を提示させて所定のものであるかどうか、選挙人本人であるかどうかを確認してください。

イ 候補者の氏名等が既に記載してある場合は

投票記載所以外の場所で投票用紙に候補者の氏名等を記載してきた場合は、不在者投票管理者は、選挙人に投票用紙を返還し、選挙管理委員会の委員長に、その投票用紙と引換えに再交付の申請をさせたいうえ、所定の不在者投票を行わせてください。

ウ 不在者投票証明書の点検（令58②） ＊選挙人が自ら投票用紙等を請求した場合のみ

選挙人自ら投票用紙等を請求した場合には、投票用紙等と同時に「不在者投票証明書」が「不在者投票証明書用封筒」に入れて送付されます。選挙人は投票にあたり投票用紙等に加えて不在者投票証明書を提示しますが、その際の留意事項は次のとおりです。

① 不在者投票証明書の封筒が開封されていないか

不在者投票証明書は、封かんした不在者投票証明書用封筒に入っているので、そのまま提出させ、不在者投票証明書用封筒が開封されていないこと

を点検します。

② 不在者投票証明書の封筒が開封されているときは

不在者投票証明書は、選挙人が投票するのに先立って不在者投票管理者が、選挙人が選挙人自身であることを照合するにあたり、氏名及び生年月日を口述させて、その内容と証明書の内容が合致しているか確認するためのものであるので、不在者投票証明書用封筒がすでに開けられているときは投票させることができません。

たとえ、選挙人が誤って開封した場合であっても、投票させることはできないので、留意してください。

③ 不在者投票をする指定病院等と不在者投票証明書に記載されている投票をしようとする施設の名称が一致するか

投票をしようとする施設の名称と一致しないときは選挙人にその理由を聞き、正当な理由があるときは投票させて構いません。

④ 選挙の告示日以前に投票の申出があっても、投票させることができないので、告示の日を確認し、間違いのないよう留意願います。

(2) 投票するときの手続は（令58①、56①）

投票の記載場所において、投票用紙に候補者一人の氏名を記載させ、これを不在者投票用封筒に入れて封をさせますが、不在者投票用封筒には内封筒と外封筒があるので、まず投票用紙を内封筒に入れて封をさせ、封をした内封筒を外封筒に入れて封をさせてください。さらに外封筒の表面の投票者氏名欄に自署させて提出させてください。

ア 投票者氏名の署名を忘れたり、病院長が代わりにして記載したりしてはいけません。

イ 署名の下に押印することや、不在者投票用封筒を印をもって封かんする必要はありません。

ウ 点字投票の場合の不在者投票用外封筒への署名は、投票用紙の入った不在者投票用内封筒を外封筒に入れる前に、点字で打たせてください。

エ 代理投票を希望する者がいるときは

① 代理投票できる選挙人（法48①、令58④、56④⑤）

心身の故障その他の事由により、自ら投票用紙に候補者の氏名等を記載することができない場合に、不在者投票管理者に申請して、代理投票により投票することができます。

② 代理投票をさせるときは（法48②、令58④、56④⑤）

立会人の意見を聞いて、補助者となる者本人の承諾を得て補助者2人を定め、そのうち1人の補助者の立会いのもとに他の1人が投票記載場所で選挙

人の指示する候補者1人の氏名を記載します。これを選挙人に読み聞かせて確認したうえで、まず投票用紙を内封筒に入れて封をし、次にそれを外封筒に入れて封をしたうえで、外封筒の表面の投票者の欄に選挙人の氏名を記載（代理投票の仮投票における代理人記載人氏名を記載する欄は、仮投票の場合にのみ代理記載した者の氏名を記載すること。）して、直ちに提出させていただきます。

封をするにあたっては、選挙人の面前で行ってください。

③ 代理投票を拒否できるのは（令58④、56⑤、41①）

代理投票の事由がないものと不在者投票管理者が認めたときは、立会人の意見を聞いて代理投票を拒否することができます。

④ 代理投票の仮投票をさせるとき（令58④、56⑤、41②③）

a 代理投票を拒否された選挙人に不服があるとき。

b 代理投票させることについて立会人に異議があるとき。（選挙管理委員会に御連絡ください。）

代理投票の仮投票の場合は、代理投票の補助者2人のうち投票用紙に候補者の氏名を記載した者に、選挙人の氏名（投票者の欄に記載）のほか、その者（補助者）の氏名を不在者投票用外封筒の表面左下段の「代理投票の仮投票における代理人記載氏名を記入する欄」に記載させたいうえで、提出させていただきます。

オ 投票記載場所について

代理投票及び点字投票の記載できる場所は、不在者投票管理者及び立会人が管理及び監視できる範囲内で、一般の投票記載所と分離してください。

カ ベッドの上で投票できるか

原則としてベッドの上で不在者投票をすることはできませんが、重病人など歩行が困難な選挙人の投票については、不在者投票管理者の管理のもとで立会人の立会いがある限り、ベッドの上でも投票できます。この場合には、投票の秘密保持には特に配慮し、投票の取扱いにも十分に注意を払わなければなりません。

なお、当該ベッドのある病室等に候補者の氏名等を記載したポスター等が掲示してあるときは、事前に撤去しておいてください。（法143①V、145①）

10 立会人の立会い

不在者投票管理者は、不在者投票が行われる場合においては、選挙権を有する者を立会人として選び、立ち合わせなければなりません。立会人が立ち会わないで行われた投票は無効となりますので、必ず1人以上の立会人を配し適正に投票を行わせてください。また、立会人は、不在者投票管理者やその補助者（事務を行う者）、

代理投票の補助者を兼ねることができないので注意してください。

11 外部立会人の活用

平成25年7月から、指定病院等の不在者投票管理者には、市町村の選挙管理委員会が選定した外部立会人を立ち会わせる等の不在者投票の公正な実施確保の努力義務が課せられました。（ただし、北上市選挙管理委員会では外部立会人を選定しておりません。）

12 不在者投票の送致等

(1) 不在者投票用外封筒に記載する事項（令60）

ア 不在者投票管理者は、不在者投票用外封筒に投票した年月日及び場所を記載するとともに、「不在者投票管理者の氏名を記載する箇所」に記名（ゴム印可）しなければなりません。

イ 立会人は、不在者投票用外封筒の「立会人の氏名を記載する箇所」に必ず自署しなければなりません。

(2) 上記の手続きが終わった不在者投票

不在者投票証明書（選挙人自身が直接投票用紙等を申請した場合のみ）とともに他の適当な封筒に入れて封をして、表面に投票が在中する旨を明記し、裏面に記名押印及び封をしたうえで、直ちに選挙人の名簿登録地の選挙管理委員会の委員長に送致し、又は郵便（速達）で送付してください。

＊上記（1）に掲げた内容に不備があった場合は受理されないこととなりますので、確認を怠ることのないよう留意してください。

13 不在者投票事務処理簿

不在者投票を正確に処理するため、「不在者投票事務処理簿（様式5）」を備えつけ、その経過を記録してください。（代理投票は、備考欄に記録してください。）

14 経費の精算

指定病院等において行った不在者投票に要した経費は、不在者投票をした選挙人（投票用紙等の請求のみで不在者投票をしなかった者は除く）1人について1,073円を公費で負担しますので、選挙の期日（投票日）後、速やかに不在者投票に要した経費についての「請求書（交付金様式第1号）」で請求してください。

これとは別に、外部立会人の立会いに要した経費については、右の表の従事時間に応じた上限額を上限として外部立会人に実際に支払った報酬等の金額を、「請求書（交付金様式第2号）」で請求してください。

なお、当該選挙における経費の請求先（請求書の宛名）は「北上市長」となります。（送付先は、北上市選挙管理委員会事務局です。）

従事時間		上限額
～1時間以内		1,282円
1時間超	2時間以内	2,565円
2時間超	3時間以内	3,847円
3時間超	4時間以内	5,129円
4時間超	5時間以内	6,412円
5時間超	6時間以内	7,694円
6時間超	7時間以内	8,976円
7時間超		10,900円

【問合せ先】

●物品に関すること、投票用紙に関すること

- ① 総務課人事厚生係 TEL：72-8227（直通） FAX：63-7023
- ② 不在者（期日前）投票所 TEL：72-8338（直通） FAX：72-8346

※不在者投票期間中（3/18～3/23）は、②へ連絡願います。

●不在者投票事務の取扱い、経費の精算、選挙全般に関すること

選挙管理委員会事務局 TEL：72-8234（直通） FAX：61-5171

指定病院等における不在者投票手順

